

口は健康のもと Vol.156

ドライマウス ～口の中が渇いたりしていませんか？～ その2

ドライマウス（口腔乾燥症）になると食事が摂りづらかったり、舌がヒリヒリしたり、味覚に異常が現れたり、また口臭の原因にもなります。このような症状がある場合は一人でお悩みにならずに歯科（特に口腔内科や口腔外科）を受診することをお勧めしましたが、今回はその原因についてご説明します。

成人の平均的な1日の唾液分泌量はおよそ1～1.5㍑です。唾液の分泌量低下の原因としては薬の副作用、糖尿病、シェーグレン症候群、加齢、ストレスおよび口呼吸などが考えられます。

高血圧症、糖尿病、うつ病、パーキンソン病などで多くの薬を服用されている場合、その薬の副作用で唾液分泌の低下がみられます。シェーグレン症候群では唾液腺、涙腺などの外分泌腺が萎縮し、口や目が乾燥します。

さらに加齢によって口周囲の筋力の低下や萎縮がおこり、唾液の分泌量が低下したり、ストレスがかかったり、緊張したりすると交感神経が刺激されて唾液の分泌が抑制されます。また、鼻の病気や癖などで主に口で呼吸をする方も唾液が蒸発してしまい口が渇きます。

心当たりがある方は歯科の受診をお勧めします。



奥羽大学歯学部附属病院

口腔外科 准教授 金 秀樹

